

予算特別委員会質疑

予算特別委員会とは

当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、4つの特別会計3つの公営企業会計があります。

3月10日と11日の2日間にわたり、令和8年度当初予算について審査しました。

歳入

〔町の収入〕

財政調整基金繰入金

丸川委員 予算額2億6500万円で、前年比9%の増加となっており、近年にない計上額となっているが、この背景は。

当局 令和7年度普通交付税の再算定において、臨時経済対策費として1億500万円ほど措置され、その分を令和7年度の補正予算で積み立て、8年度に有効活用することとした。また、新産業団地の事業推進にも基金の活用を図ることとしたため。

丸川委員 財政調整基金は、災害等不測の事態に備え積み立てているものと認識しているが、積み立てと活用の考え方は。

当局 万一の際の初動対応に備える観点で、一定規模の積み立ては必要と考えており、本町の標準財政規模約50億円の2割程度を想定している。財政状況を踏まえながら積み立てや活用を適切に対応していきたい。

不明相続人への課税
衣袋委員 所有者の死亡等により課税対象者が放棄または不明になった固定資産税への対応はどのようになるか。

当局 戸籍等により相続人の確認を行う。相続放棄などで相続人がいない場合、法定相続人の確認をしたうえで納税通知を出している。

歳出

〔町の支出〕

総務費

集落支援員事業の取り組みと情報の共有

金田委員 地区により課題は様々であるが、その課題解決に向けての取り組み事例は。

当局 蚕桑地区では、町の住基データから、地区の人口動態を、集落別、年代別に作成し、将来の人口予想などを使って、次期地区計画に反映する取り組みを行っている。

金田委員 素晴らしい取り組みを地区内のみでなく、広く町全体で情報の共有など実施しているか。

当局 センター報に若干掲載される程度で、町全体で周知する機会はなかった。今後検討していきたい。

横山委員 集落支援員制度の課題は何か。

当局 国の要綱に曖昧な表現があり、目指すべき方向性などに課題があったと感じている。連携し理解を深めたい。

多様な人材還流促進事業

丸川委員 「ふるさと住民登録制度」について、主にどのよう活用にしているのか。

当局 担い手不足に悩む本町として、年3回以上登録した地域において担い手活動が要件となる、「プレミアム登録」によって参加を増やしていきたい。

丸川委員 登録された方の活動先をどのようにして決めるのか。

当局 本町においてどのようなところで担い手が必要としているか調査をし、その方とマッチングできる機能の構築が重要となってくるので、その整理と仕組みづくりについて取り組みながら決めていきたい。

職員のメンタルヘルス

横山委員 職員健康相談委託の取り組みは。

当局 月1回の相談日を設けている。仕事や人間関係の悩みなどの相談があり、大変良かったと聞いている。

令和8年度も同様に取り組み内容を充実させるほか、管理職を対象としたハラスメント対応などにも活用したい。

